

飯能市水道事業中期経営計画（平成28～32年度）の事業評価について

(1) 計画期間における目標指標

(ア) 施設利用率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
施設利用率	51.9%	51.8%			66.4%
指標の考え方	日常給水に要する各浄水場施設の稼働率				

※浄水施設等再構築事業の完成後、平成31年度に本郷浄水場を休止し、小岩井浄水場と県水受水場の稼働率を上げる。

(イ) 有収率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
有収率	85.7%	85.6%			90.0%
指標の考え方	有収水量／給水量（配水量）				

※漏水修理範囲の見直し等により、漏水の早期発見と漏水量の抑制に努め、有収率の向上を図る。

(ウ) 管路耐震化率

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
管路耐震化率	22.9%	23.7%			25.0%
指標の考え方	管路延長に対する耐震化				

※旧市街地の老朽管布設替工事等で老朽管を耐震管へ布設替えすることにより、管路の耐震化を図る。

(エ) 市民満足度

指標名	現況				目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
市民満足度	—	—	—		43.5%
指標の考え方	市民意識調査(H31予定)による「満足」、「やや満足」の割合				

※水の安定供給及び上水道の整備を進め、平成31年度に予定される市民意識調査で、市民満足度の5%上昇を目指す。

(2) 主要な建設改良事業の進捗状況

実施事業①

事業名	ア 取水・浄水・配水施設等整備事業					総事業費	1,047,456千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計	
	266,457	169,236				435,693	
総事業費に対する 進捗割合	25.4%	16.2%				41.6%	

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
取水場整備事業	120,000	49,680 41.4%	48,060 40.1%			
浄水場整備事業	441,156	180,813 41.0%	72,900 16.5%			
配水場整備事業	201,700	15,120 7.5%	48,276 23.9%			
ポンプ場整備事業	284,600	20,844 7.3%	0 0.0%			
計	1,047,456	266,457 25.4%	169,236 16.2%			

◆平成29年度の取り組み(決算額)

取水場整備事業	小岩井取水場右岸可動堰扉体改修工事	48,060千円
浄水場整備事業	小岩井浄水場沈殿池汚泥掻寄機更新工事(H29、H30継続)	72,900千円
配水場整備事業	坂石配水場No.1・2配水ポンプ盤更新工事	48,276千円
ポンプ場整備事業	—	—

◆平成30年度の予算(予算額)

取水場整備事業	—	—
浄水場整備事業	小岩井浄水場沈殿池汚泥掻寄機更新工事(継続)	81,000千円
	名栗浄水場低区配水池水位調整弁交換工事	4,527千円
配水場整備事業	坂石配水場ほか配水ポンプ等交換工事	8,942千円
ポンプ場整備事業	小岩井浄水場内送水ポンプ場送水ポンプ盤更新工事	152,895千円
	県水受水場No.2送水ポンプ修繕工事	7,056千円

◆事業の進捗状況

評価	小岩井取水場可動堰扉体改修工事は、今年度右岸を工事し完成した。 小岩井浄水場沈殿池汚泥掻寄機更新工事は、平成29年度、平成30年度の継続事業で実施していく。 取水場、浄水場、配水場、ポンプ場など更新時期を迎える浄配水施設の主要な整備は、今後も計画的に更新していく。
----	--

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業②

事業名	イ 老朽管布設替事業(管路耐震化推進事業)					総事業費	1,412,100千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計	
	369,582	131,274				500,856	
総事業費に対する 進捗割合	26.2%	9.3%				35.5%	

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
配水管布設替工事 (旧市街地)	588,610	110,429	18.8%	50,252	8.5%	
配水管布設替工事	823,490	259,153	31.5%	81,022	9.8%	
計	1,412,100	369,582	26.2%	131,274	9.3%	


◆平成29年度の取り組み(決算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	八幡町地内配水管布設工事(336.1m)	50,252千円
配水管布設替工事	平戸地内減圧弁更新工事(減圧弁1基)	4,968千円
	長沢地内ほか加圧ポンプ更新工事(加圧ポンプ2台)	5,940千円
	苅生地内配水管布設工事(430.9m)	40,727千円
	線 原市場地内配水管布設工事(一ノ瀬橋)(63.2m)	21,071千円
	線 飯能地内配水管布設工事(第3工区)(183.3m)	8,316千円

◆平成30年度の予算(予算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	東町地内配水管布設工事(第1工区)(270m)	43,740千円
	東町地内配水管布設工事(第2工区)(450m)	63,180千円
配水管布設替工事	小岩井地内導送水管布設工事(300m)	55,080千円
	平松地内配水管布設工事(300m)	38,880千円
	苅生地内配水管布設工事(320m)	31,104千円
舗装復旧工事(4,550㎡) 39,312千円を含めた合計		271,296千円
		19.2%

◆事業の進捗状況

評 価	平成29年度は、旧市街地の老朽管布設替えとして、336mの布設替えが終了した。これにより全体計画10,514m中、6,851mの布設替えが終了し、進捗割合が65.2%となった。 平成29年度発注の東町地内配水管布設工事630mは、埋設物による影響に伴い工期延期を行い、東町地内配水管布設工事720mと併せ平成30年度に終了する。 今後も旧市街地の赤水対策として老朽管布設替えを優先的に実施する。
	

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業③

事業名	ウ 配水管網整備事業				総事業費	545,940千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計
	129,651	149,169				278,820
総事業費に対する 進捗割合	23.7%	27.3%				51.0%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
土地区画整理関連 配水管工事	324,000	52,768 16.3%	60,123 18.6%			
下水道関連 配水管工事	76,720	76,883 100.2%	89,046 116.1%			
配水管布設工事	145,220	0 0.0%	0 0.0%			
計	545,940	129,651 23.7%	149,169 27.3%			

◆平成29年度の取り組み(決算額)

土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(50.7m)	1,717千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第2工区)(75.7m)	5,756千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第3工区)(90.9m)	10,865千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第4工区)(17.1m)	1,458千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(第6工区)(149.1m)	13,068千円
	双柳南部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(76.9m)	4,752千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(45.5m)	2,344千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第2工区)(54.9m)	7,754千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(52.4m)	2,970千円
岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第2工区)(181.4m)	9,439千円	
下水道関連 配水管工事	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第3工区)(109.0m)	15,055千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第5工区)(293.6m)	29,614千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第6工区)(322.8m)	23,652千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第7工区)(93.4m)	9,763千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第8工区)(104.6m)	10,962千円

◆平成30年度の予算(予算額)

土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(550m)	62,640千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(第1工区)(254m)	23,112千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(第2工区)(350m)	31,860千円
下水道関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事(20m)	2,160千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事(100m)	8,748千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事(280m)	26,460千円
配水管布設替工事	双柳地内配水管布設工事(500m)	42,660千円

計 197,640千円 36.2%

◆事業の進捗状況

評価	区画整理事業、下水道事業、道路事業の計画に併せて、各事業の工事進捗状況により上水道の工事を実施した。 今後も各事業計画の進捗に併せて工事数が年度で前後するが、着実に配水管網整備を進めていく。
----	--

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業④

事業名	工 浄水施設等再構築事業				総事業費	682,170千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計
	76,569	227,955				304,524
総事業費に対する 進捗割合	11.2%	33.4%				44.6%

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
県水受水場改修工事	407,000			0	0.0%			
送水管布設工事	221,170	76,569	34.6%	227,955	103.1%			
本郷配水場 電気設備更新ほか	54,000	0	0.0%	0	0.0%			
計	682,170	76,569	11.2%	227,955	33.4%			


◆平成29年度の取り組み(決算額)

県水受水場改修工事	なし	0千円
送水管布設工事	大河原地内送配水管布設工事(821.3m)	89,921千円
	飯能地内送配水管布設工事(第1工区)(199.6m)	84,002千円
	飯能地内送配水管布設工事(第2工区)(741.9m)	54,032千円
本郷配水場 電気設備更新ほか	なし	0千円

◆平成30年度の予算(予算額)

県水受水場改修工事	県水受水場電気設備等改修工事(H29年度、H30年度継続費)	455,760千円
送水管布設工事	大河原地内送配水管布設工事(380m)	50,004千円
	飯能地内送配水管布設工事(360m)	123,903千円
	繰(仮称)飯能大河原線送配水管橋梁添架工事(240m)	93,420千円
本郷配水場 電気設備更新ほか	なし	0千円

◆事業の進捗状況

評価	
	飯能地内送配水管布設工事941m、大河原地内送配水管布設工事821mを実施した。 また、(仮称)飯能大河原線の道路整備工事に併せて、送配水管橋梁添架工事240mは、平成30年度へ繰越となった。 今後、道路整備事業に併せて、送配水管の布設及び県水受水場の改修に着手していく。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業⑤

事業名	才 基幹施設耐震化事業					総事業費	239,708千円
実績値 (単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	計	
	50,641	59,724				110,365	
総事業費に対する 進捗割合	21.1%	24.9%				46.0%	

◆事業内容別実績値(単位:千円)

事業内容	総事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
小岩井取水場 耐震補強工事	73,632	50,641	68.8%					
小岩井浄水場 耐震化工事	166,076							
計	239,708	50,641	21.1%	59,724	24.9%			


◆平成29年度の取り組み(決算額)

小岩井取水場 耐震補強工事	なし	0千円
小岩井浄水場 耐震化工事	小岩井浄水場耐震補強工事	59,724千円

◆平成30年度の予算(予算額)

小岩井取水場 耐震補強工事	なし	0千円
小岩井浄水場 耐震化工事	小岩井浄水場耐震補強工事	79,559千円
計		79,559千円 33.2%

◆事業の進捗状況

評 価	
	小岩井浄水場の耐震補強工事は、平成29年度、平成30年度の継続事業で実施する。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

(3) 安全給水対策

カ 水安全対策事業

水安全計画の策定	各浄水場における危害分析を行い、その管理方法や対応措置を定めた水安全計画を策定した。
水質管理計画に基づく水質検査の実施	水質管理計画に従い、定期的に水質検査を実施した。また、水道水が水質基準に適合しており、安全で良好であることをホームページにより周知した。

キ 配水管等維持管理事業

漏水調査の効率的な実施	漏水調査委託を3年間で市内を一巡するよう地区を分けて実施し、漏水の早期発見に努めている。平成29年度は精明地区を実施した。平成30年度は原市場地区を実施する。
漏水修繕の早期対応	有収率の向上を図るため、平成29年4月1日より専用住宅及び店舗兼用住宅であり、漏水修理依頼書の提出があった場合、宅内漏水修理における市の費用負担をメーターボックスまでに拡大した。
管網解析システムの活用	水道管布設工事の設計時において、断水、通水時の水流方向及び圧力等の変化を解析システムにより解析し、安全・安定給水に有効活用した。
給水台帳管理システムの更新	水道工務課で管理する給水台帳管理システムに、水道業務課で管理する水栓番号、料金データを反映させる作業を行った。

ク 危機管理対策事業

現状に即した危機管理計画の見直し	新型インフルエンザが発生した場合、厚生労働省から水道事業職員へ優先的にワクチンが配布される登録を行った。
災害復旧訓練の実施	10月30日に飯能市が加入している利根川・荒川水系連絡協議会の伝達訓練及び6月4日に土砂災害・全国防災訓練(会場 飯能市)に参加した。

ケ 人材育成事業

研修体制の充実	平成29年度は、日本水道協会主催の研修に7人、横浜ウォーター主催の研修に4人、埼玉県主催の研修に1人が受講し、技術と知識の向上を図った。
---------	--

コ 官民連携推進事業

漏水等修繕業務の委託化	公道上の漏水修理委託について飯能市水道事業協同組合と協議を行い、平成30年4月1日から24時間の全面委託となる。
-------------	--

サ 水道水源保全事業

水道サポーター事業の実施	平成29年度は、水道サポーター事業として2回実施し、16組41人(保護者23人、子ども18人)の参加があった。7月25日に有間ダム見学、8月7日に小岩井浄水場の見学を行い利き水や水道水のクイズを出題した。
--------------	--

シ 利用者サービス向上事業

収納取扱金融機関の追加	収納取扱金融機関に三井住友銀行(H30.7.19)、埼玉縣信用金庫(H30.10.1)、西武信用金庫(H30.6.16)の3金融機関を新たに追加するため、3金融機関と契約を締結した。
-------------	---

ス 水道広報事業

広報、ホームページへの掲載	水道週間、水道サポーター事業、水道ポスター事業のほか、水質検査結果、漏水に関するお知らせ等について、情報を更新した。
---------------	--